

2回目の仙台自転車提供報告

7月16日(土)(釜ヶ崎支援機構・内職センター職員 杉本、同・特別清掃指導員 西村) AM00:00 大阪西成発→7月16日(土) PM13:30 過ぎ仙台市太白区郡山(ホームレス支援全国ネット・グリーンコープ・生活クラブ生協共同事業体 仙台郡山事務所)着、



当機構のリサイクルプラザの皆さんの気持ちのこもった自転車20台を現地対策本部の事務局の北島 修さんに届けました。

事務所のスタッフの方々にも手伝って頂き、まずは事務所に自転車を仮置きし、被災され生活をして行く上で自転車を必要とされる方のもとへと届られて行きます。

前回の自転車のほとんどは、岩手県の方に提供されたようです。

自転車は本当に役に立ち何台あっても良い程、みなさんが欲しがっているとありがたく思っていました。



今回もどこに届けるのが一番いいのかよく考えスタッフ内でも話し合ってから送り先を決めますとの事、本当に被災地の方の為になっているのだと思いました。

ちなみに今、必要とされているのが洗剤、扇風機、だそうです。

特に扇風機は、品切れで困っているみたいです。仮設住宅は、二部屋あるのですがクーラーがひとつしか無く構造上、暑くてたまらなく為扇風機が必要だそうです。



今回は、3月下旬以降4ヶ月にわたって釜ヶ崎支援機構から現地に派遣されている特別清掃指導員の佐々木さんの案内で、日本三景のひとつ松島の被災地を見に行きました。最初に奥松島へ行きその光景は、以前5月に見た被災地の荒浜周辺の状態と同じ様に家が崩れ手つかずのままの所が有り家の下には被災された行方不明の方が、居るのではないかとされている場所でした。





この後、松島に行きました。

有名な旅館などは、工事に来られている人の宿泊所になっている様です。

奥松島に比べるとかなりましで、海水はかかったみたいですが、営業を行なっている店も有り観光客も少ないですが、来られていました。

松島からは、下道で、本塩釜、塩釜港、宮城野区、荒浜町と前回見た被災地へと車で行きその被災地の広さと痛々しい姿でした。



前回の見た被災地です。車は横たわっていますが、この場所では、ほとんどの車は片付けられていました。



崩れ壊れた家が片付けられてきています。

5月の連休中に行った時と何より変わったのは、上の写真でも写っていますが、電柱が、新しくなっていることです。少しずつですが、復興の兆しが見えはじめた所まだまだ手をかけられないところと

さまざまですが、いずれにしても5年10年とかかってやっとスタートラインかなという印象です。今は、主に石巻でのガレキの撤去を行なっているようです。

7月17日（日）AM00：00 仙台発→7月17日（日）PM13：00 西成着

今回で2度目の自転車を仙台に届けるという事に関しては、被災地の方のお役に立てているかとは思いますが、2回目になりますと自転車を届けるという事だけで行くのでは無く、被災地へ行く限りは、被災地で何かお手伝いをしなければと思い、3度目の仙台へ自転車を届ける事が有りましたら、たとえ1日でも被災地での支援活動をして現地の方の思いを肌で感じて現状の支援にも何か繋がるようにと思いました。

(釜ヶ崎支援機構では、現地に長期派遣している佐々木さん以外にも、特別清掃指導員が交代で被災地の復興支援に赴いています。)

内職センター 杉本 修



下の表は、前回（5月）に搬送したリサイクル自転車の提供先です。
足が無くなってしまった、中学高校生の通学や、
避難所などでの共同の自転車として有効に活用されています。
公共機関の回復はまだまだ先なところが多く、
今回提供した自転車も、すでに半分が予約が入っているとのことです。

	提供先(5月提供分)	地域	台数
1	女川町 避難所	女川町	4台
2	気仙沼 避難所	気仙沼市	3台
3	亘理町 吉田地区	亘理町	2台
4	パーソナルサポートセンター	仙台市	3台
5	ロージーベル	南三陸町	3台
6	仙台夜回りグループ	仙台市	2台
7	ホームレス支援全国ネット現地事務所	仙台市	3台
	合計		20台